

作者プロフィール

柚木 文夫氏 千葉県隊友会会員 習志野支部長 桧町陸幕 平成2年退官 1958年防衛大学卒
元防大山岳部監督 現自衛隊山岳連盟会長

南天山－両神山の観望台－



中津川林道から見上げる南天山

11月中旬、中津川峡谷の民宿に泊り、前日秩父槍ヶ岳(1341m)に登り、翌日南天山(1483m)に登った。中津川峡谷とそれを取り巻く山群は、交通の便も悪く、殆どの山はまだ登山路も整備されておらず、いわば登山未開地とも言える山城である。その中であって唯一登山路が整備され、一般登山客に開放されているのが南天山である。

前日、秩父槍ヶ岳に登った後、中津川集落の民宿・駒鳥山荘で田舎料理と秩父の酒を堪能し、すっかり朝寝してしまった。南天山の登山口・鎌倉橋には駐車場があると聞き、車で向かった。

鎌倉橋9時15分出発で登山開始。橋の対岸が南天山への登山口で、「体験の森」なる看板がある。この付近一帯が、「彩の国ふれあいの森」として整備され、体験の森もその一部で、南天山登山道はその一環として整備された由。



法印ノ滝

結構なことである。

登路は鎌倉沢をツメて行くが、しっかり設備された栈道・栈橋を左岸、右岸と何度も渡り返しながら高度を稼いで行く。9時45分、法印ノ滝。落

差20m程の滝が、静々と流水を落とす様が、何とも優美である。

滝の左側をクサリにすがって登ると沢は途端に広々と開け10時15分、尾根道・沢道分岐に着いた。登りに尾根道、下りに沢道を使うことに決めて、右の尾根道に取り付く。ヒノキ林の急斜面だが、実に上手にジグザグが切っており、気持ち良い登りが楽しめた。植生がカラマツ林に変わった12時頃、ヒョッコと主稜線に飛び出し、後は主稜線を右に、岩稜を一登りして12時15分、南天山山頂に到着した。



南天山山頂

山頂は狭いが、展望は北面を除き広大で、奥秩父、群馬県境の山々が眺められる。とりわけ両神山がすぐ目の前に圧倒的な大きさで迫って見えた。

長々と昼食・大休止を取り、13時下山開始。主稜線を西ノ肩まで下り、ここから沢道コースを下降する。ここも又、ジグザグルートが上手に切っており楽チンの下りだった。尾根道・沢道分岐到着13時45分。後は朝と同じ道を逆に辿り、鎌倉橋帰着15時。



南天山山頂から望む両神山